

2019 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日の間に 当科において内視鏡検査・処置を受けて「胃癌」「大腸癌」を指摘 された方及びご家族の方へ

—「当院における体外式腹部超音波検査 (abdominal ultrasonography; AUS) の胃癌および 大腸癌検出能・診断能の後ろ向き検討」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学検査診断学 (内視鏡・超音波) 准教授 今村祐志
研究分担者 川崎医科大学検査診断学 (内視鏡・超音波) 講師 中藤流以

1. 研究の概要

体外式腹部超音波検査 (abdominal ultrasonography; 以下 AUS) は、放射線被ばくなく行うことができる検査法で、病変について詳しく評価することも可能な検査法です。当院で胃カメラや大腸カメラを受けて胃癌や大腸癌が見つかった方について、AUS によるその病変の検出能や診断能を、既にある診療録 (カルテ) の情報から確認し検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2019 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院 内視鏡・超音波センターにおいて胃カメラや大腸カメラを受け、胃癌や大腸癌が見つかった方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において胃カメラや大腸カメラで胃癌や大腸癌が見つかった方で、研究者が診療情報をもとに AUS の結果ふくめてデータを選び、AUS の病変検出能・診断能について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、基礎疾患、胃カメラや大腸カメラの結果、病理組織結果、等

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学検査診断学 (内視鏡・超音波) 実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024 年 12 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 検査診断学（内視鏡・超音波）

氏名：中藤 流以

電話：086-462-1111 内線 44324（平日：9 時 00 分～17 時 00 分）

ファックス：086-462-7897

3 . 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。本研究に関する、利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し適正に管理されています。